

社馬連 17 第 87 号
平成 30 年 3 月 23 日

会員団体各位

日本社会人団体馬術連盟
会長 山口 昇
担当：普及委員会

**日本社会人団体馬術連盟馬術技能資格
A・B・Cグレード審査会開催のお知らせ**

日本社会人団体馬術連盟馬術技能資格A・B・Cグレード審査会を下記のとおり実施いたします。資格審査会は平成27年9月の審査会から各グレードにおいて審査内容、筆記試験の内容、参加費用の見直しをおこないました。事前に内容を確認の上申し込みをお願いします。

記

- 開催日時：平成 30 年 5 月 6 日(日) 集合時間 AM 8:30
- 場所： 集合・筆記試験・実技審査
早稲田大学馬術部 *教場ではありませんのでご注意ください。
東京都西東京市東伏見 3-4-67 Tel 0424-67-5790
- 参加人員： 15名程度
1団体にて多数お申込みの場合は調整させていただくことがあります。
- 参加料：

A グレード 1 名につき	14,000 円
B グレード 1 名につき	11,000 円
B' グレード 1 名につき	6,000 円
C グレード 1 名につき	6,000 円

4 月 20 日(金)までに次の振込先に送金ください。
(振込後、メールで団体名及び金額をご連絡下さい。)
振込先：日本社会人団体馬術連盟 TEL 03-3297-5630
三井住友銀行 神田支店(普) 1300690
- 審査方法：別紙参照
- 参加条件：当連盟の会員団体に所属し、何らかの障害保険に加入していること、
A グレード受験者は、B グレードを既取得であること。
- 服装： 競技用正装は特に規定しませんが、保護帽及び長靴(ゴム可)を着用してください。部班・馬場でも必ずヘルメットを着用して下さい。
(3点固定式ヘルメットを着用)
また、障害競技参加者はエアバッグ式のプロテクターの着用を推奨します。
- 持ち物： 筆記用具(シャープペン・鉛筆・消しゴム)
ヘルメット、手袋、鞭、拍車、ほか上記服装規定に記載のもの
- 申込方法：別紙申込書を下記に送付のこと。
メール・FAXにても受け付けます。(送信後に確認の電話を入れてください。)
- 申込期日：平成 30 年 4 月 20 日(金)

- 11.参加の受諾: 参加が確定した場合は4月25日(水)までに代表者にご連絡します。
参加を取り消す場合は、4月20日(金)までに必ず日本社会人団体馬術連盟までご連絡ください。当日のキャンセルに関しては、直接早稲田大学馬術部 0424-67-5790 にご連絡下さい。
- 12.問い合わせ: 日本社会人団体馬術連盟 TEL.03-3297-5630 FAX.03-3297-5636
E-mail:shabaren@jbg.jp [URL:www.jbg.jp](http://www.jbg.jp)
13. キャンセルポリシー:
4月20日(金)までに参加を取り消された方には参加料の返金を行います。
それ以降のキャンセルの場合、参加料は返金されません。

以上

社馬連資格審査会審査要領(Aグレード)

〔審査項目〕

1 筆記試験

出題内容は「日本馬術連盟騎乗者資格B級」程度です。

- ① 馬の馬体名称、毛色、品種、歩法、扶助、馬具、部班運動
- ② 馬スポーツ憲章
- ③ 馬の管理
- ④ 馬場馬術競技のルール
- ⑤ 障害馬術競技のルール

※筆記試験の出題内容は、一部見直しが行われる場合があります。
見直しが行われる場合は、別途ご案内致します。

2 実技試験

馬場馬術と障害飛越の2種目を実施する。

※注意事項:

練習馬場における練習は、3分2飛越とし、逆飛越は大変危険を伴うため、
1万円の罰金といたします。十分ご注意願います。

〔実技試験審査方法〕

(1) 馬場馬術

- ・ 別添の審査用紙の JEFA2課目経路を審査する。
※JEF 馬場馬術競技 A2課目 2013 (2017年4月1日更新)
- ・ 審査員(2~3名)の平均得点率の70%を得点とする。

(2) 障害飛越

- ・ コース : H100、W100 以下 8 障害、9 飛越(経路図参照)
- ・ 形式 : 基準表 A とするが、通常の採点に加え「誘導の部」「飛越状態の部」に着眼して採点を行う。
- ・ 審査 : 審査を①誘導の部、②飛越状態の部、③通常の部、の3セクションに分けそれぞれ審査する。または、①誘導の部及び飛越状態の部、②通常の部、の2セクションに分けそれぞれ審査する。
誘導の部・飛越状態の部を担当した審査員(2~3名)の平均得点から通常の部の過失点(基準表 A)を差し引いた点を得点とする。

(3). 障害飛越審査の要点

①誘導の部

- ・ 障害の中央へ正しく誘導しているか。
- ・ 適切な踏切を行っているか。
- ・ 適切なペース、リズムで走行しているか。
- ・ 走行中、正しい騎乗姿勢が維持されているか。
- ・ 走行中、正しい扶助操作を行っているか。

②飛越状態の部

- ・ 飛越前、中、後における騎手の安定感。
- ・ 前傾は遅れていないか、また、先飛びしていないか。
- ・ 拳はゆずられているか。
- ・ 着地の際、状態はつつこんでいないか。
- ・ 正しい脚の位置は保たれているか。

3 試験合格基準

(1) 筆記試験

Aグレード : 70%以上正解の者

(2) 実技試験

Aグレード :

馬場馬術・障害飛越 2 種目の合計点の 55%(82.5 点) 以上を合格とする。

配点は馬場馬術 $100 \times 0.7 = 70$ 点、障害飛越 80 点、合計 150 満点とする。

・馬場馬術: 審査員(2~3 名)の平均得点率の 70%を得点とする。

・障害飛越: 審査員(2~3 名)の平均得点から通常の部の過失点(基準表 A)を差し引いた点を得点とする。

社馬連資格審査会審査要領(B・Cグレード)

1 筆記試験

B・C受験者共に馬術の基礎知識について筆記試験を行います。

出題内容は「日本馬術連盟騎乗者資格B級」程度です。

- ① 馬の馬体名称、毛色、品種、歩法、扶助、馬具、部班運動
- ② 馬スポーツ憲章
- ③ 馬の管理
- ④ 馬場馬術競技のルール
- ⑤ 障害馬術競技のルール

※筆記試験の出題内容は、一部見直しが行われる場合があります。

見直しが行われる場合は、別途ご案内致します。

2 実技試験

B・C受験者共に同一の部班審査を行います。

この審査で50点以上の者が障害の審査に進むことができます。

部班運動の着眼点

- ① 正しい姿勢(含むアブミの長さ)とバランス
- ② ハミ受けの状態
- ③ 正しい運歩の維持とリズム
- ④ 直線上・曲線上の真直性

障害飛越審査(障害数8個のコース)の着眼点

- ① 騎手のバランス
- ② 馬の誘導とペース
- ③ 飛越状態

※注意事項:

練習馬場における練習は、3分2飛越とし、逆飛越は大変危険を伴うため、1万円の罰金といたします。十分ご注意願います。

3 試験合格基準

(1) 筆記試験

Bグレード	: 70%以上正解の者
B'グレード(馬場限定)	: 70%以上正解の者
Cグレード	: 50%以上正解の者

(2) 実技試験

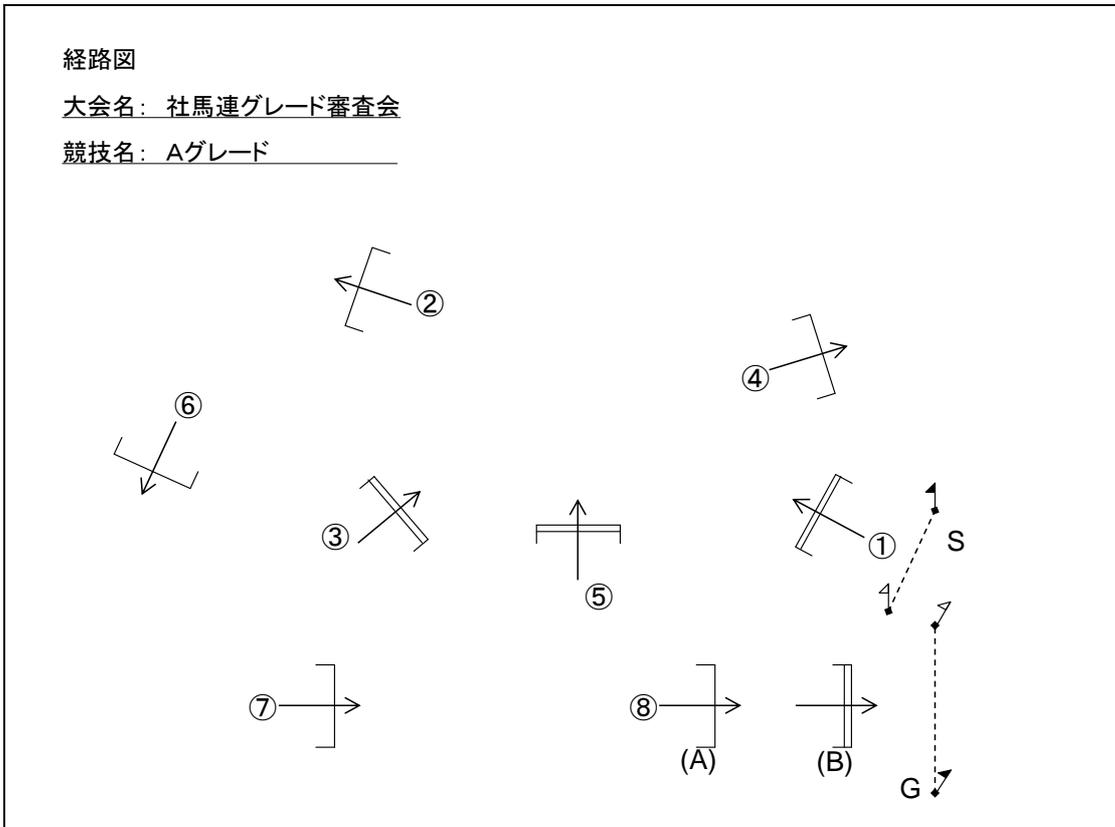
Bグレード	: 部班・障害審査共に50点以上の者
B'グレード(馬場限定)	: 部班審査で50点以上の者
Cグレード	: 部班審査で40点以上の者
Dグレード	: 部班審査で40点未満の者

※Cグレード受験者で、部班審査で50点以上の場合はCグレードとなります。

(B'グレードとCグレードの筆記試験内容が異なるため)

障害飛越経路

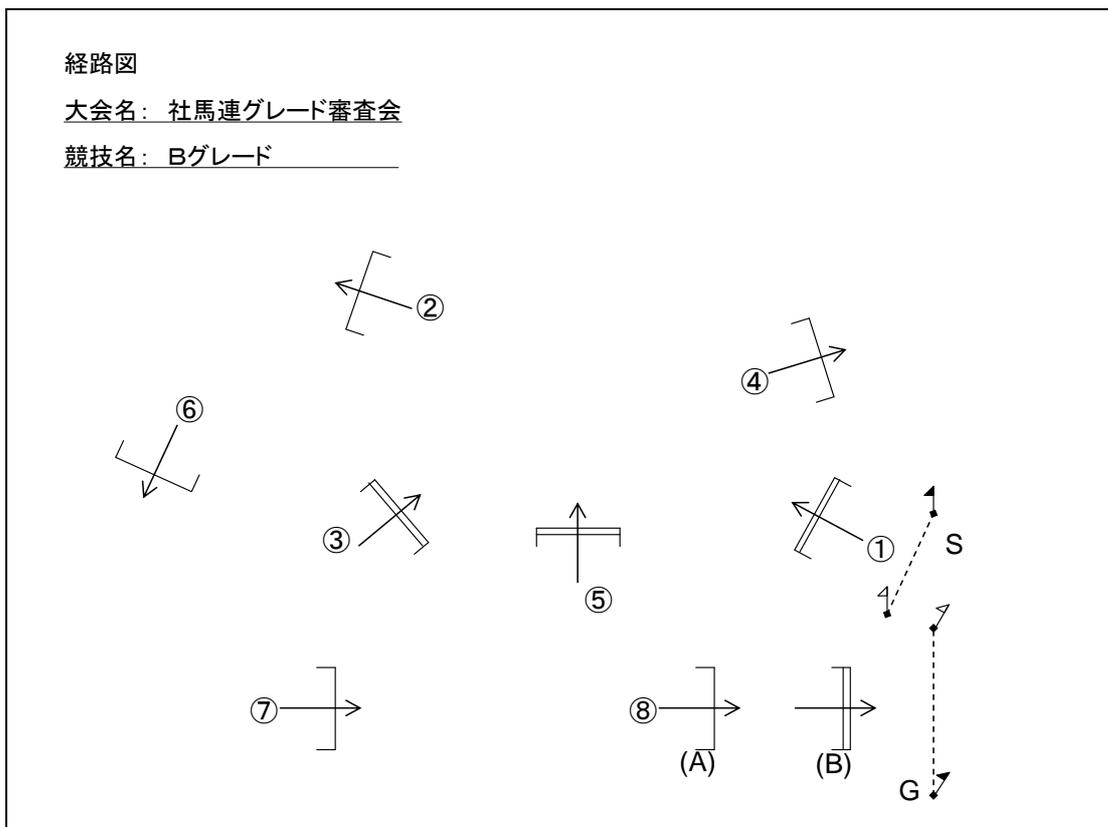
Aグレード



No.	障害の種類	高さ	幅
1	オクサー	70cm × 80cm	70cm
2	垂直	80cm	
3	オクサー	80cm × 90cm	80cm
4	垂直	90cm	
5	オクサー	80cm × 90cm	90cm
6	垂直	90cm	
7	垂直	90cm	
8(A)	垂直	90cm	
(B)	オクサー	95cm × 100cm	100cm

(注)経路および障害の高さに関しては、開催場所や当日の都合で変更になる場合があります。

障害飛越経路
Bグレード



No.	障害の種類	高さ	幅
1	オクサー	60cm × 70cm	60cm
2	垂直	70cm	
3	オクサー	60cm × 70cm	60cm
4	垂直	70cm	
5	オクサー	70cm × 80cm	70cm
6	垂直	70cm	
7	垂直	80cm	
8(A)	垂直	80cm	
(B)	オクサー	70cm × 80cm	80cm

(注)経路および障害の高さに関しては、開催場所や当日の都合で変更になる場合があります。

早稲田大学馬術部案内図

住所 東京都西東京市東伏見 3-4-67
TEL 0424-67-5790
集合場所 **早稲田大学馬術部**
集合日時 平成 30 年 5 月 6 日(日) 午前 8:30 時間厳守をお願いします。

電車 西武新宿線東伏見駅下車南口から徒歩4分
高田馬場駅から約 30 分 各駅停車または準急のみ停車します。
車 首都高 高井戸IC→環状8号線外回り(荻窪方面)
→四面道の交差点を左折(田無方面)
→青梅街道を下り 15分
→北裏の信号から二つ目の信号**東伏見坂上**右折
車は**馬術部内駐車場**に止めてください。

